

イベント会場におけるガソリンなどの

貯蔵・取り扱いにご注意ください

祭りや花火大会など多数の観客が参加する行事において火災が発生した場合、被害が甚大となる恐れがあることから、次の事項に留意してください。特に火気を使用する屋台などにおける防火安全の徹底をお願いします。

ガソリンの特性

- ・引火点はマイナス40度以下と低く、極めて引火しやすい。
- ・揮発しやすく、その可燃性の蒸気は空気より約3〜4倍重いので、低い場所に溜まりやすい。

・電気の不良導体であるため、流動などの際に発生した静電気が蓄積しやすい。

ガソリンの貯蔵・取扱時の注意事項

- ・ガソリンを取り扱う周辺で、火気や火花を発生する機械器具などを用いない。また、人体に蓄積された静電気により火災に至った事例などもありますので、ガソリンを取り扱う際は細心の注意を払いましょう。
- ・ガソリン使用機器の取扱説明書などに記載された安全上の留意事項を厳守し、特にエンジン稼働中の給油は絶対に行わないようにしましょう。
- ・取り扱いの際には、開口前の圧力調整弁の操作など、取扱説明書に書かれた容器

の操作方法に従い、こぼれあふれなどがないよう細心の注意を払いましょう。

- ・ガソリンは金属製容器で貯蔵し、その容器を地面に直接置くなどの取り扱いにより、静電気の蓄積を防ぐ必要があります。また、その容器からガソリン蒸気が流出しないように、容器は密栓しましょう。

その他

- ・屋台でガスこんろなどを使用する場合は、消火器を準備しましょう。
- ・ゴムホースと器具との接続部をホースバンドなどで締め付けるとともに、適正な長さで取り付け、ひび割れの劣化がないことを確認しましょう。
- ・プロパンガスボンベは、直

射日光の当たらない通気性の良い場所に設置し、転倒しないよう鎖などで固定しましょう。

容器について

灯油用ポリエチレン缶にガソリンを入れることは非常に危険です。ガソリンを入れる容器は、消防法令により一定の強度のある材質を使用することと容量が制限されています。



平成25年

秋季全国火災予防運動

11月9日(土)〜15日(金)

全国統一防火標語

「消すまでは心の警報ONのまま」

■市消防本部で実施する主な行事

- ① 広報車などによる火災予防広報
- ② 大型店舗・危険物施設などへの立入検査
- ③ 空地の枯草除去依頼

市民の皆様、ご協力のほど宜しくお願いします。

市消防本部

TEL 322・0119

FAX 322・3595